

別 紙

インターンシップにおける新型コロナウイルス感染症対策について

1, 実習時における対策

- (1) 新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い、手指の消毒、3密（密集、密接、密閉）を避ける等の「新しい生活様式」に沿って実施します。
- (2) 実習生並びに指導者は、全員マスクを着用で実施します。ただし、現地実習や熱中症対策等でマスクを外すときは、人との十分な距離（2m 以上）を確保します。
- (3) 車両での移動においては、
 - ア 乗車人数は出来る限り少なくし、人と人の間に空席を設けて乗車する
 - イ マスクを必ず着用し無用の会話を行わない
 - ウ 窓の開放や空調による換気を行う
 - エ ハンドル、ドアノブ、シート等の消毒を行う等の対策をとります。

2, 実習生における対応

- (1) 実習生は、万全の体調で実習に臨むため、体調管理に努めて下さい。
また、実習前の14日間は、県をまたぐ往来の自粛と毎日（朝・夕）検温の上、各自の体調等について、別紙「体温・体調等記録用紙」に記録し、実習初日に指導員に提出してください。
- (2) 実習中においても検温等を継続し、朝の実習前に咳及び通常感じない倦怠感等がある場合は、自宅や宿泊場所等で待機するとともに、受入署等の指導者等に連絡し対応を相談して下さい。

体温・体調等記録用紙 ～研修14日前からの状況報告のお願い～

*新型コロナウイルスの最大潜伏期間はおおむね14日といわれています。
 *本記録用紙は、実習14日前から実習開始までの発熱・呼吸器症状等と健康状態をチェックし、報告いただくものです。
 *この期間に体調不良を感じた場合には、無理せず、実習の参加について検討してください。

ふりがな		大学等名	
氏名		受入局署名	
		実習期間	令和 年 月 日() ~ 月 日()

日付	体温測定時間	体温()	呼吸器症状 咳・胸の痛み・息苦しさ・鼻水・鼻づまり・のど痛・痰 その他の症状 関節・筋肉の痛み・頭痛・だるさ食欲がない・下痢 はきけ～嘔吐・お腹の痛み・発疹・味覚や嗅覚の異常		備 考	
			なし	あり()	解熱鎮痛薬の内服等	「三密」となったと思われる場合 (場所・相手方等を記入)
/	:		なし	あり()		
(14日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(13日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(12日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(11日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(10日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(9日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(8日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(7日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(6日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(5日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(4日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(3日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(2日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(1日前)	:		なし	あり()		
/	:		なし	あり()		
(当日)	:		なし	あり()		

[注] 避けるべき「三密」状態とは、密閉(むんむん) 換気の悪い密閉空間、密集(ぎゅうぎゅう) 大勢がいる密集場所、密接(がやがや) 間近で会話する密接場面、のことです。